

兵庫大学生

と 加古川署

交通安全PRへタッグ

有線放送出演、ポスター作製

兵庫大（加古川市平岡町新在家）の学生たちが、加古川署員と有線放送の番組で交通安全について話し合ったり、自転車の安全運転を訴えるポスターを作ったりして、交通事故の防止に向けて一役買っている。同署の松本博之交通官も「若い世代と接することで、私たちも新しい視点に触れられる」と歓迎する。

（千葉翔大）



自転車の安全運転を呼び掛けるポスター＝兵庫大

同大では、防犯や防災の啓発活動に取り組むサークル「サプライズ企画部」に、3年生計15人が所属。顧問を務めることも福祉学科の満田知美准教授（52）が、同署交通1課の毛利明子巡査部長と知り合いだったことから、これ

まで年3回ほど署員らと啓発イベントに取り組んできた。8月には、JA兵庫南稲美有線放送（稲美町国岡1）が制作し、署員が登場する啓発番組「セーフティ加古川」に、満田准教授と、いずれも3年生で同サークルの松村真由美

4人は松本交通官、毛利巡査部長と、事故が起きる原因や効果的に交通安全を呼び掛ける方法などについて意見を交わす。番組は楽しみながら聞いてもらえるよう、アドリブも交えて展開。計4回に分け、5、12、19、26日の午後6時から約15分間、稲美町内で契約されている受信機器約2300台を通じて聞ける。

自転車の安全な利用を呼び掛けるポスターの作製にも協力。署員が扮する高齢者が、一時停止を無視して自転車で交差点に入り、部員が運転する乗用車と衝突する」という状況を撮影した。学生がデザインを担い、ポスターには「自転車は車の仲間です!」「一時停止指定場所ではしっかり停止」などと表示。約100枚作り、食品スーパー「マルアイ」の加古川市内の店舗に8月中、同市内の図書館などには年末まで掲示する。

有線放送の番組収録に臨む(手前左から)辻田瑞希さん、岡林楓さん、松村真由美さん、満田知美准教授と加古川署員ら＝JA兵庫南稲美有線放送

辻田さんはそれぞれの取り組みを通じ、「有線放送とポスターを多くの人に知ってもらい、交通安全について楽しく学んでほしい」と話す。